



▲完成したばかりの新しい校舎で、授業を受ける生徒たち

震災に負けず新たなスタート

石越中学校の仮設校舎が完成

東日本大震災で大きな被害を受けた石越中学校の仮設校舎が完成し、1月10日から使用が開始されました。仮設校舎は軽量鉄骨のプレハブ2階建てで、延床面積は約1,733㎡、駐輪場も整備され、石越総合運動公園の一角に建てられました。登校してきた生徒たちは、完成したばかりの仮設校舎に入ると、久しぶりに会う級友たちと校舎内を見て回っていました。2学期を旧上沼小学校で過ごした生徒たちは、「3学期に間に合ってよかった」「地元が一番いいね」と今後の学校生活に声を弾ませて喜んでいました。

新年を迎え気持ちも新たに

登米で新春懇談会

登米町新春懇談会が1月6日、とよま観光物産センター「遠山之里」で開かれ、地元の事業所や行政関係団体などから86人が参加しました。懇談会では、登米市災害復興計画の策定、新登米診療所の開所、特別養護老人ホームゆりの郷の開園、寺池地区と日根牛地区の交通死亡事故なしの継続などを話題に親睦を深め、安全安心な地域づくりに向けて、気持ちを新たにしていました。また、祝宴では「招福！爆笑パワーで若返り」と題して、藤原秋子さんによる講演が行われ、会場は笑顔でいっぱいになりました。



▲会場が一体となって盛り上がった、藤原先生の楽しい講演

初日の出へ思いを込めて

迫森地区元旦あるけあるけ大会

健康で明るい地域づくりを目指し、今年で37回目を迎える「森地区元旦あるけあるけ大会」が1月1日に開催され、子どもからお年寄りまで約100人が参加しました。コースは森幼稚園を発着点とする約5kmで、午前6時過ぎに出発しゴールを目指しました。休憩地点の上行寺境内では、雲の合間から初日を拝むことができ、それぞれ新年の願い事や決意を祈りました。毎年参加している人などおいて、参加者全員が無事ゴールした後は、通算10回、20回目の参加者への表彰状の贈呈や抽選会が行われました。



▲初日の出の参拝や、仲間との会話を楽しみながら歩く参加者



▲交通安全関係団体ごとに交通安全無事故を祈りました

交通安全無事故を願って

南方で交通安全無事故を祈願

今年1年間の交通事故の防止と交通死亡事故ゼロの達成を願い1月5日、南方公民館を会場に、南方地区交通安全無事故祈願が行われました。会場には南方地区交通安全関係団体から約60人が出席し、石神社の田村宮司よりお祓いが行われた後、関係機関ならびに団体の代表者が玉串を奉奠し、今年1年の交通安全を祈願しました。また、主催者である交通安全協会南方支部の大久保支部長は「今年も交通安全をより一層強く呼びかけ、交通事故の抑止に努めたい」と決意を述べました。



▲あっという間にラーメンを作る手さばきに、興味津々の児童たち

ラーメンってどう作るの？

東和児童クラブで食育活動

食品が出来上がる過程への関心や、食に対する感謝の気持ちをはぐくむことを目的に、米谷児童活動センターで1月5日、食育活動「ラーメンってどう作るの？」が行われ、米谷・錦織・米川児童クラブの児童15人が参加しました。当日は中田町「たけちゃんラーメン」の小野寺竹二さんを招き、慣れた手さばきでのラーメン作りを見学。子どもたちは間近で見るプロの手つきに真剣に見入っていました。その後の試食では、出来上がった熱々のラーメンを「すごくおいしい」とみんな笑顔で食べていました。

お楽しみ企画がいっぱい！

津山で平成23年度クリスマス会

津山林業総合センターにおいて12月23日、平成23年度クリスマス会（津山町子ども会育成会と津山公民館の共催）が開催され、津山町内の小学生56人が参加しました。クリスマス会では、針金ハンガーを使ったクリスマスリース作りや景品が当たるビンゴ大会、各種ゲームなど「津山町ジュニアリーダーおこぜ」のメンバーが用意してくれたさまざまな企画を楽しみました。また、ジュニアリーダーが、サンタやトナカイになって登場し、プレゼントを手渡すなど、みんなで楽しいクリスマスを過ごしました。



▲各班で協力し、工夫を凝らしたオリジナルのリースを作りました